vol.18
くりんちゃん通信
芦田川環境マネジメントセンターニュースレター
2015年3月

【発行・事務局】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555　広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル1F　エフエムふくやま内
TEL (084) 920-8777
E-mail aemc@fm777.co.jp
Homepage
http://fm777.co.jp/pc/aemc/

TOPICS 1 「河川浄化チャレンジ月間」を実施しました。

芦田川環境マネジメントセンター、国土交通省　福山河川国道事務所及び福山市は、芦田川の水質浄化に取り組む「河川浄化チャレンジ月間」を、平成26年11月1日～11月30日の1ヵ月間実施しました。

「河川浄化チャレンジ月間」は平成19年度からスタートしており、通算で8回目となる今年度は、瀬戸川・高屋川流域を中心に、芦田川流域全体に"家庭で出来る水質浄化の取り組み"の実践を呼びかけました。

なお、右下図に示す学区・小学校には、チラシやアンケートの配布・回収にご協力をいただきました。

ご協力ありがとうございました！

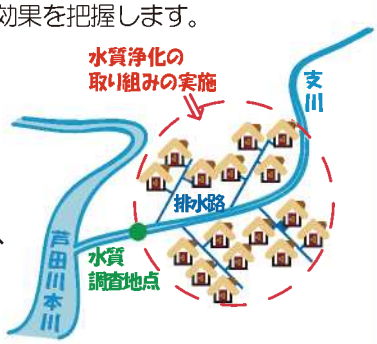
◆ 調査方法 ◆

1.取り組み前、取り組み中の水質調査

瀬戸川・高屋川流域の調査地点において、取り組み前と取り組み中に水質調査を行い、その結果を比較することで、取り組みの効果を把握します。

2.アンケート調査

各家庭で、家庭でできる水質浄化の取り組み5項目を実践していただき、その取り組み状況や感想について、アンケートに記入していただきます。



◆ 河川浄化チャレンジ月間に関するQ&A ◆

Q：芦田川の水質は改善されているのでしょうか？

A：中国地方の一級河川で水質ワースト1という汚名をよく耳にされると思いますが、瀬戸川や高屋川などの流入河川の水質は徐々に改善しつつあります。今回の調査でも、BODに関しては、実施前と実施中ともに1.7㎎/Lと芦田川上流域の環境基準（2.0㎎/L）を下回っていました。

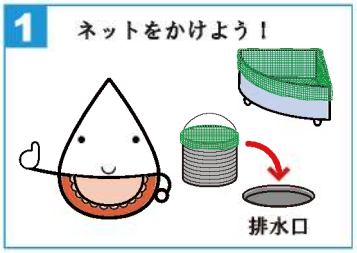
Q：取り組みにはどの位効果があるのでしょうか？

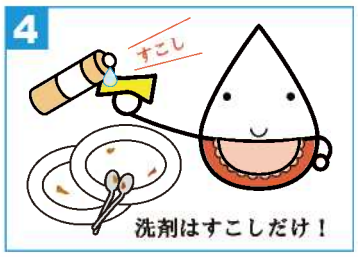
A：①"家庭で出来る取り組みがある"ということを知って頂く、②実際に取り組みを行って頂くきっかけづくり、③取り組み状況を把握・公表することで、皆様が行っている独自の取り組み内容を共有し合う、といった効果が考えられます。本取り組みを通して「今回から（各種取り組みが）できるようになった」といった回答も頂いております。

◆ 取り組み項目（クリーン5） ◆

※「クリーン5」とは、みなさんが家庭でできる環境にやさしい5つの取り組みをまとめたものです。

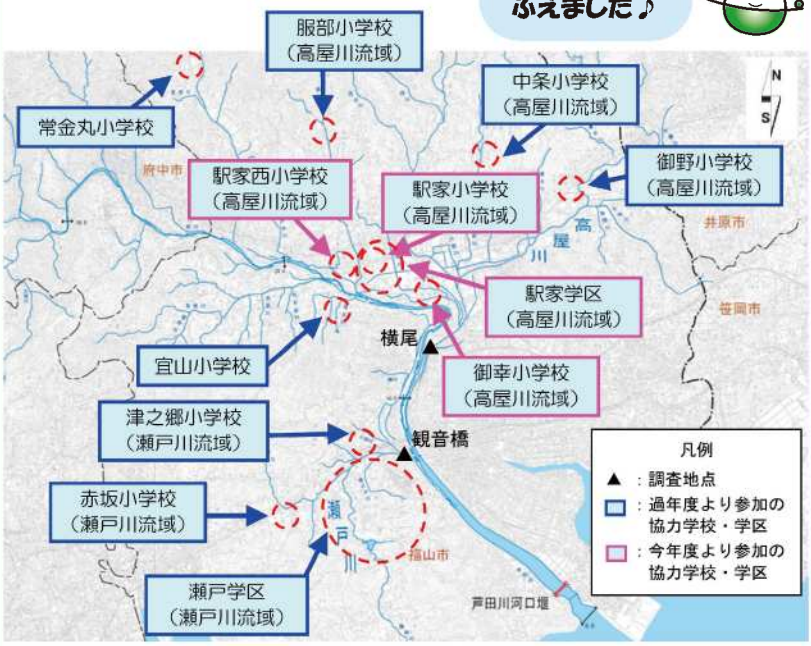
①排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない
②汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う
③食用油は直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりしてごみとして出す
④食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす
⑤洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける





◆ 主な実施対象エリア ◆

新しく仲間がふえました♪



※本事業は、「一般財団法人 義倉」の助成を受けて実施しました。

TOPICS 2 河川浄化チャレンジ月間の実施結果をご報告します!

参加者からは、意識の変化や今後の取り組みへの決意など、年間を通じた取り組みとして流域全体へ展開していくことが期待できる積極的な意見を多数いただきました。

以上の結果より、日頃から家庭でできる水質浄化の取り組みが重要であると改めて確認できました。今後は、このような芦田川の水質浄化に向けた草の根運動が契機となって、各家庭に水質浄化の取り組みが定着することで芦田川流域全体に広まり、芦田川の水質が改善していくことを期待します。

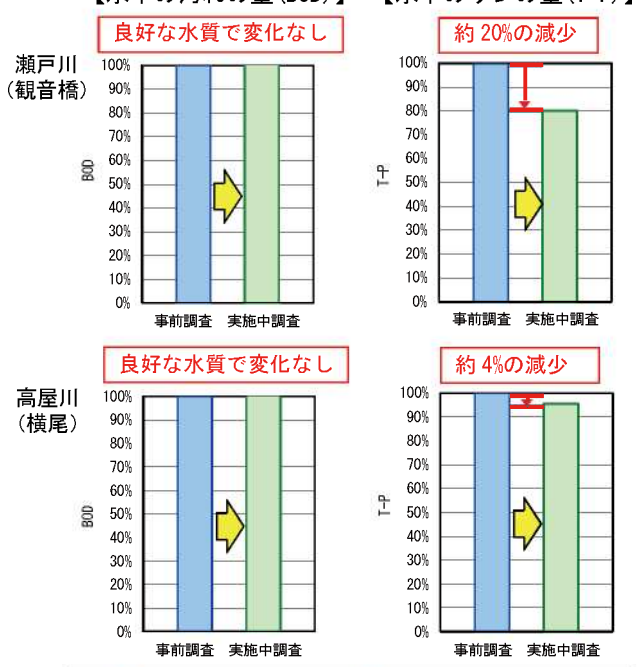
◆ 参加者の声 ◆

○いつも気を付けていることとはいえ、時々キャンペーンをされると改めてやる気が起こるので良いことだと思います。
○こういう事がないと気にしないことが多いので、年に1回でもあると、少しずつそうする事があたり前になってくるのではないでしょうか。
○個々に責任を持って水質浄化に努めることが市の美化にもつながり、河川浄化チャレンジ月間は大変良いことと思う。
○以前から気を付けている項目が多かったが再認識できた。
○水質浄化への意識が高まり良い試みだと思います。
○「河川浄化チャレンジ月間」でなくても、続けていくといいと思います。
○自分からすすんでしたりしたら、気分も気持ちよくなりました。
○普段から取り組んでいるつもりだか、このようなチャレンジがあると改めて気に留めるようになるので、良いと思う。

「河川浄化チャレンジ月間」へのご参加ありがとうございました!

◆ 水質調査結果 ◆

本調査はあくまで改善傾向を把握するものであり、事前・事中ともに各1回のみの調査となるため、水質の減少率は正確な削減率というわけではありません。しかしながら、各取り組み項目について、流域住民の皆様に積極的に取り組んでいただいた結果、取り組み前と比べて、取り組み後の生活排水等の汚れの量が削減されたものと考えられます。



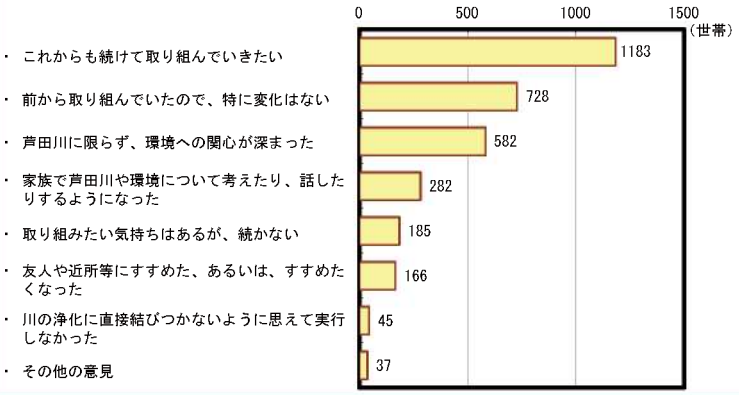
【図:水質調査結果の比較(上図:瀬戸川流域、下図:高屋川流域)】

◆ アンケート調査結果 ◆

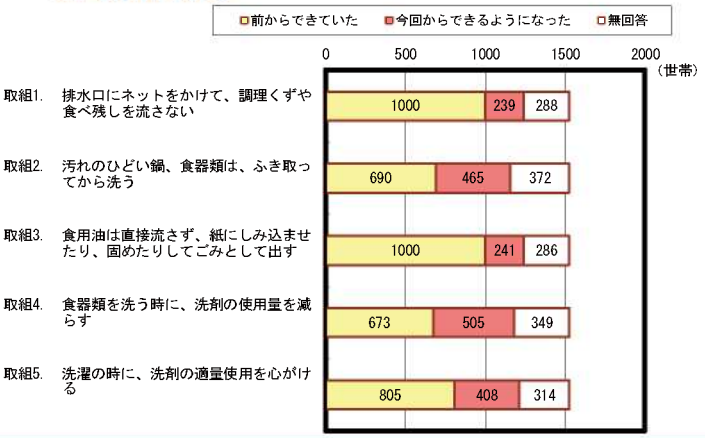
※アンケート回答数:1,527世帯

取り組みを実施した感想については、「これからも続けて取り組んでいきたい」という意見が、アンケートにご回答いただいた世帯の約8割を占め、多くの世帯が"今後も継続して取り組みたい"という回答でした。また、取り組み後の暮らしの変化についての設問では、約3割の世帯で、今回から新たに「汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う」「食器類を洗うときに、洗剤の使用量を減らす」「洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける」について実践していただくことができました。

設問:「水質浄化の取り組み」を実行して、感じられた事、行動の変化等はいかがですか?



設問:「水質浄化の取り組み」を実行した結果、どのように暮らし方に変化が現れたかをお尋ねします。



芦田川環境マネジメントセンター会員募集中!!

芦田川環境マネジメントセンター(AEMC)では、今後も芦田川の水環境をテーマにさまざまな活動の企画を予定しています。そこで、これらの活動のさらなる充実を図るため、活動に参加もしくは支援してくださる個人や団体を募集しています。 募集要項・入会申し込み書等の入手は、ホームページ(http://fm777.co.jp/pc/aemc/)をごらんください。

AEMCで検索してね! aemc 検索

皆様のご参加をお待ちしております。